

朝日中高生新聞

Asahi Student Newspaper

©朝日学生新聞社
〒104-8433
東京都中央区築地 5-3-2
朝日新聞社新館 9階
☎03(3545)5223(広報)
☎03(3545)5222(編集)
購読申し込み 0120-415843
ウェブサイト www.asagaku.com



ニュース <small>ヒンナン</small> 平昌フィギュアここを見て 2	学習 東大王・伊沢さんの「受験」 13	ブック 図書館司書おすすめの2冊 17
特集 美しき微生物に魅せられて 10,11	学習 高校受験・ラストサポート 15	芸能 声優に挑戦 <small>あなとがずのふ</small> 峯田和伸さん 20

仮想通貨のしくみ

通貨は1000種以上

ネット上の交換所

サイバー泥棒

ビットコインの場合

現金 → コイン → 店 / 個人

個人 → コイン → 個人

商品

現金や電子マネーとのちがいは?

	現金	電子マネー	仮想通貨
管理者	中央銀行	企業	いないものも
価値	一定	一定	常に変化
どう使う?	買い物など	買い物など	買い物、投機、個人間の送金

イラスト・佐竹政紀

仮想通貨

便利と危険 背中合わせ

ネット上で580億円分盗まれる

インターネット上に流通する仮想通貨の交換業者「コインチェック」(東京都渋谷区)から先月、約580億円分の仮想通貨が盗まれました。取引が便利になる一方、法律が整備されておらず、利用者の保護が追いついていませんに聞きました。

(寺村貴彰)



原隆さん

コインチェックは1月26日、外部から不正なアクセスを受け、利用客から預かっていた約580億円分の仮想通貨「NEM」が流出したと発表しました。仮想通貨のトラブルでは、2014年に起きた交換業者「マウント・ゴックス」からの流出を超えて最大規模。一般的なドーム球場の建設費に匹敵する額が奪われました。

今回は「インターネットを通じてデータを盗む『サイバー泥棒』といえる」と原さん。交換業者の金庫にあたる「ウォレット」が外部からアクセスできる状態になっており、ウォレットを開く「鍵」の管理も不十分でした。

監督する金融庁は2月2日、同社への立ち入り検査を開始。利用者への補償や安全管理の体制を調べます。コインチェックはNEMを持っていった約26万人全員に計463億円を返却するとしています。

仮想通貨は、円やドルなど法的に認められている通貨と同じように、商品購入時の支払いや送金などに使えるデータ上の「コイン」にあたるもの。一般的に、交換業者に銀行を通して現金を送ると、等価のコインと交換されます。最も有名なビットコインで、イーサリアム、リップルなど、現在は1千種類以上あるとされます。Suicaなどの「電子マネー」にはない特徴があります。

例えば①特定のお店以外にも、不特定の個人間でやりとりができる②現金では不便な海外送金も、速く・安く③価値が固定されず、金のように常に変化する④日本銀行に管理される円などと違い、管理者がいない通貨もあるなど。

世界的に広がる背景について、原さんは「国や金融機関への不信感が高まったため」と指摘。ギリシャやキプロス政府はここ数年、

誰とでも簡単にやりとり／価値が一定でない／管理者がいないものも

厳しい財政難を乗り切るため、銀行預金を引き出せないようにしたり、国民に高い税金を背負わせたりしています。「こうした政策に対し、誰も管理していない通貨の方が安心、と人々が考えるようになりました。データを管理するテクノロジーが進歩したことも理由の一つです」

一方で、値動きすることから、短期的な売買でもうけるマネーゲームとして注目され、問題になっています。中国や韓国は規制強化に動き、相場の混乱が続きます。

日本は昨年4月、法律で仮想通貨のルールを国として初めて定め、世界をリードする考えです。

今はスマートフォンでデジタルコンテンツを買う時代。音楽やゲームなどをインターネット上で買うには仮想通貨のほうが便利な場合もあります。「物事には『危険』な側面もあれば『見返り』もある。さまざまな人に話を聞き、よく考えることが大切です」

よく調べ納得してから

日本学園中学・高校(東京都世田谷区)には、為替や株式の動きを通して社会を学ぶ為替株式学習部があります。今回の問題について、部員の大西駿さん(高2)は「投資する人の多くは、マスコミの『もうかる』という報道に引っかかっているのでは。きちんと調べたうえで投資しないと危険」と見えています。

投資そのものが悪いわけではなくと考える伊藤夏輝さん(高2)。「納得できるところにお金を出すことは、日本経済への投資です。まわりまわって私たちの生活に返ってほしい」とも知ってもらいたいですね」